



後方で星条旗や中大旗がはためく中、
LA白門会インターンシップ関係者が集い、
プログラムは始まった

愛情たっぷり、手作り LAインターンシップ

LA白門会提供、今年度から正規授業に

観音寺里佳

(理工学部都市環境学科 2年)

中央大学ロサンゼルス(LA)白門会が提供してきたインターンシップ(就業体験)プログラムは今年度から正規授業となり、参加学生6人が9月3日から約2週間、現地で研修した。訪問した研修先はLA白門会の協力により、28カ所にも及んだ。以下は理工学部2年・観音寺里佳さんによる体験レポートだ。

入学してから2年、インターンシップという言葉をよく耳にするようになりました。そんなある日、『中大のインターンでLA白門会インターンシップってのがあるよ、面白そうじゃない?』。知人のこの一言がすべての始まりでした。

『LAインターンシップってエリートしか行けなさそう…というか、多摩か!!』が私の最初の印象でした。

LA白門会インターンシップはその名の通り、LAでのインターンシップです。数多くあるインターンシップと大きく異なる点は、中大学員会(同窓会)支部の一つであるLA白門会の皆さんの、多大なるご尽力によって行われているところです。

期間中、たくさんの企業を訪問します。多岐にわたる業種が書かれている訪問先の一覧(別表)を見れば、OB・OGの皆さんが私たち後輩を応援してくださっているのがよく分かります。いわば「愛情たっぷりの手作りインターンシップ」です。

10期生まで輩出した歴史あるもので、私たち11期生はインターンシップが正規授業となってから初めてとなる履修生でした。

プログラムは全学部履修可能な科目として多摩キャンパスで行われます。「後楽園キャンパスを本拠とする理工学部生にはちょっと厳しい」ものでした。後楽園での時間

割や、交通費のことなど心配な点がありましたが、「やってみたい、行ってみたい」という気持ちが勝って、挑戦するからには面接に受かってみせるという気合いで面接試験に挑みました。その結果、合格だったときはとてもうれしかったです。

率直に言いますと、正規授業となったことで大いに期待され、求められることも多くて、かなり疲れれました。しかし、それ以上に学んだこと、経験したことが数多くあり、爽りあるものでした。

今回、私が感じたこと、学んだことについて、たくさんある中から3つに厳選して書きたいと思います。



ダウンタウンの街並み



履修生6人で企業訪問



本当に好きなことが わかった

理工学部都市環境学科に在籍しています。後楽園キャンパスに通っていて、『自分は本当にこれがやりたかったのか』と悩んでいました。

橋が大好き人間とか、将来は地図を作りたい人間とかが周りにいる中で、私だけ目標がなく、立ち止まっていることに焦りと不安を感じていました。

そんなときにこのインターンシップに参加してLAの様々な街並みを見て『土木、最高!』という気持ち再び湧き上がりました。

人生にはスパイスが 必要

1つ目に土木ラブの気持ちに再び火がついたと書きました。しかし、当たり前のことですが自分が悩んだ理由が何なのか分からないまま、がむしゃらに進むのではせっかく息を吹き返した火も長続きしません。

今回のインターンシップでは自分を見つめ直す機会が何度もありました。今まで自己分析することを避け続けていたのですが、このインターンシップではそううまくいきませんでした。

そこで満を持して自己分析をした結果、自分が『同じような毎日を通越すのが大嫌いで、チャレンジ精神が人より高い』ということがわかりました。

大学生活を過ごしている中で、常に刺激的な毎日を送ることは難しいと思いますが、自分の人生は自分のものなので、積極的に楽し

くしていきたいと思います。

将来の進路について

LAで見聞を大幅に広げることができました。その主な理由としてOBやOGとの交流があると思います。

自分の可能性を試したくて渡米したと仰っていた皆さんのお話はどれも自分のこれから先の道標になりました。2年後、大学院に進む場合は4年後に待っている『進路』について今まで以上に『現実的で、かつ自分に合った』ものにしたいと強く思っています。

学んだこと、気づいたことを見るとすごく立派でたいそうなもののように見えますが、これらの学びを得る中で数多くの失敗をしました。幾つか紹介します。

卒業生56万人の同窓会、 学会

■学会

中央大学では卒業生を「學員」と呼んでいる。2015年に創立130周年を迎えた中大には學員が約56万人。母校の興隆と発展に寄与することなどを目的とし、全国に地域支部を広げている。

地域支部数は124あり、全国106・海外18。また、卒業した年度で組織する「年次支部」が62、職種や企業などで集まる「職域支部」が57ある。その数は243にも及ぶ。(2017年10月現在)。

2017年LA白門会 インターンシッププログラム

訪問日	訪問先	業種
9/2(土)	ロサンゼルス到着	
9/3(日)	開講式	
9/4(月)	LA白門会会長宅	学生歓迎BBQ大会
9/5(火)	Toyo Miyatake 写真館	記念撮影
	Manufactures Bank	銀行(三井住友銀行子会社)
	Tachibana & Ochiai	会計事務所
	US Jaclean	健康器具販売
9/6(水)	かずみ不動産	不動産仲介業
	ClearFreight	物流会社
9/7(木)	Noatex	商社
	O'Melveny & Meyers	弁護士事務所
9/8(金)	JETRO	日本貿易振興機構
	FEDEX	米国最大手物流会社
9/9(土)	日本国総領事館	外務省機関
	全米日系人博物館	アメリカにおける日系人コミュニティの歴史
9/10(日)	California Science Center	スペースシャトル展示
	日系人教会	教会
9/11(月)	Getty Center	美術館
	MKS Engineering	車のパーツの輸出業
	ヤクルトUSA	ヤクルト製造販売
9/12(火)	Jupiter Corporation USA	貿易流通と製造修理
	スズキ自動車	自動車会社
	シェラトンパークホテル	ホテル
9/13(水)	ウォルトディズニー社	テーマパーク
	UC Irvine	カリフォルニア州立大学
9/14(木)	ハンティントンビーチ市庁舎	地方自治体
	井村屋	米国における日本食普及
	Hanwa American	鉄鋼、食材等の商社
9/15(金)	Two Miles	会計事務所
	San Diego訪問 (メキシコ国境、空母見学)	
9/16(土)	研修報告会	
	懇親会	
9/17(日)	帰国	



全米日系人博物館



LA白門会 インターンシッププログラム

①歴史と経緯

- ・2007年度から有志のボランティアによってスタート
- ・参加者募集は法学部国際企業関係法学科を中心とした口コミ
- ・数年前からキャリアセンターが説明会をセッティング
- ・10年経過とLA白門会結成25周年の節目で2017年度から正課授業化への動き
- ・2016.10ホームカミングデー2日前にLA白門会・中林会長、事務局長、関係者とミーティングを実施し、2017年度～経済学部インターンシップへの組み込みが決定
- ・2017.1までの間に授業内容検討を行った
- ・通年4単位、担当教員は高田圭悟客員講師、土曜4限、定員6人

②広報

- 【現地での周知、会員への協力依頼】
- ・1/29 LA白門会新年会
- ・4/23 LA白門会年次総会
- 【日本でのPR活動】
- ・2017.2 公式HP、Go GLOBAL HP、草のみどり、学員時報
- ・2017.3 GGJシンポジウム



③主なスケジュール

- ・3月下旬 エントリー期間 14名出願
- ・4/5 高田客員講師による面接選考 6名選抜(法1、商3、理1、総1)
- ・選考ポイント 語学力よりヤル気
- ・4/15～授業開始
- ・4/22 授業後にLA白門会東京事務局・沼本、高橋両氏による1回目の事前レクチャー
- ・6/24 2回目の事前レクチャーまでに訪問企業を確定させる
- ・7/22 前期授業終了
- ・9/3～16 LAでの研修
- ・9/23 後期授業期間開始
- ・10/22 ホームカミングデーにて報告会

A・アメリカのチップ文化を“ガン無視”し、ホテルのハウスキーピングにチップを5日くらい置かなかった。

B・カフェ「スターバックス」で同じものを2回頼み、2回とも違うものが出てきた。(ちなみに最初はモカフラペチーノを頼み、出てきたのは抹茶フラペチーノ。2回目はキャラメルラテを注文、目の前にはよくわからないコーヒー)。根気よくトライするのが大事

です。

C・大きすぎるスーパーマーケットでお土産をメンバーと買いに行くことになり、みんなを呼びに行こうとして、自分が迷子になった。これぞ、ミイラ取りがミイラになった。

このインターンシップでは、多分野における自分の可能性を今まで以上に見つけることができました。

これはきっと他のインターンシップでは経験できないことだと思います。多摩キャンパスの学生ももちろんなのですが、特に後楽園キャンパスにいる理工学部生に勧めたいです。

理系だからこそ海外に行くことは貴重であり、インターンシップに参加することは世界市場や、社会問題について、日本を外国から見られるいい機会です。

自分の見聞を今より2倍、3倍、10倍に広げる経験をしてください。そのためにLA白門会インターンシップがあるのだと思います。

最後に、今回のインターンシップでは多方面からの支援がありました。私たち6人を歓迎してくださったLA白門会のOB・OGの皆さんをはじめ、関係者の皆さん、今回一緒に参加したメンバーに心から感謝したいと思います。ありがとうございました。



LA白門会・中林会長から「修了証書」を授与される観音寺さん(右)